

日本獣医生命科学大学
令和 7(2025)年度 入学者選抜

一般選抜 (第 1 回)

理 科
化 学

「解答例」

- 【I】** (1) (ア) 1 - ⑥ (イ) 2 - ④ (ウ) 3 - ③
(2) 4 - ⑥
(3) 5 - ①・③
(4) 6 - ⑦
(5) 7 - ①

- 【II】** (1) 8・9 - ①・⑥ (順不同)
(2) (a) 10 - ② (b) 11 - ⑤ (c) 12 - ①
(3) (a) 13・14 - ①・③ (順不同) (b) 15 - ④ (c) 16 - ③
(d) 17 - ② (e) 18 - ⑥

- 【III】** (1) 19 - ⑤
(2) 20 - ①
(3) 21 - ⑥
(4) 22 - ④ 23 - ②
(5) 24 - ①
(6) 25 - ⑤
(7) 26 - ③

- 【IV】**
- (1) (ア) アルデヒド (イ) カルボン酸
 - (2) (ウ) ホルムアルデヒド
(エ) ギ酸
 - (3) +1
 - (4) $\text{CH}_3\text{OH} + \text{CuO} \rightarrow \text{HCHO} + \text{H}_2\text{O} + \text{Cu}$
 - (5) ヒドロキシ基が結合している炭素原子に結合する、炭化水素基の結合数による分類である。
 - (6) 92mg
 - (7) $\text{HCOOH} + \text{NaHCO}_3 \rightarrow \text{HCOONa} + \text{H}_2\text{O} + \text{CO}_2$
効果：ギ酸で酸性に傾いた血液が中和されpHが上昇する。

- 【V】**
- (1) ⑤
 - (2) 酢酸を加えると弱酸であるフェノールが遊離する。錯イオンの形成にはフェノキシドイオンの存在が必要であると考えられる。
 - (3) 単一の化合物となった。
 - (4) 15
 - (5) 84
 - (6) $\text{R}_1 : \textcircled{2} \quad \text{R}_2 : \textcircled{5}$